

平成19年度 播磨町ゆめづくり塾

# ふれあいエコアップ塾

## 成果報告書



平成19年4月～平成20年3月

# 1 塾の目的

## 塾長 藁科 文雄

播磨町も以前、いたるところでホタルが飛んでいたが、急速に都市化し自然環境が大きく変化したことで、今では見るができなくなった。全国各地では、エコアップ等の自然環境を改善しようとする活動が盛んになり、播磨町でも、ビオトープやため池の調査やエコアップ活動をとおした環境教室を開催、さらに、昔遊びや伝統文化の継承をとおして多世代間交流事業、さらにはがんばる父親の背中でおこなう子育てについても取り組む。

難しい講釈や理論抜きに人と人とのふれあいを楽しみながら、次世代に誇れる何かを残すため一緒に活動する仲間を増やしていく。



エコアップ：横浜市の環境エコアップマスタープラン等から始まった活動

横浜市環境エコアップとは

市街地から郊外に至るまで、**生き物の生息環境の質を現状より向上させること** **残された貴重な自然を適切な維持管理により量・質共に保全すること**

それぞれの地域にふさわしい手法で水と緑を保全し、生き物の生息環境を回復・創出することにより**生き物を呼びよせ、種の多様性を高めること**

様々な主体の連携による身近な自然にふれる機会や場所の保全・創出を通じて、**人間と自然との共生を図ること**

# 2 活動報告

## 活動一覧

- 2 - 1 ホタル育成と鑑賞（4月～6月）
- 2 - 2 親子キャンプ体験（7月21日～22日）
- 2 - 3 ビオトープとため池の水質調査
- 2 - 4 北池魚のつかみどりと清掃（10月21日）
- 2 - 5 コウノトリの郷視察研修（11月11日）
- 2 - 6 バードウォッチング（2月10日）
- 2 - 7 喜瀬川エコアップ作戦とカワナ放流（3月8日）
- 2 - 8 ホタルの幼虫の放流とビオトープの管理（3月～4月）

## 2 - 1 ホタル育成と観賞

### 蓮池小学校ホタル池観察と鑑賞会（蓮池小学校「灯足るの会」合同開催）

#### ホタル池の観察

3月末に放流したホタルの幼虫は桜の花びらが落ち始める4月から5月にかけてサナギになるために水中生活をやめて陸上に上がってくる。

この様子を観察し、何時、どのような環境でどのように幼虫が上陸するか天候、気温、水温を定期的に記録することとした。

今後、このようなデータを分析することで、ホタルの幼虫の生態がわかり、ホタルが羽化する時期を予想したいと考えている。



夜行性のカワニナ（蓮池小学校ビオトープ2号池）

#### 夜間のホタル池の観察

ホタルの幼虫の唯一の餌となるカワニナ（淡水巻貝）は日中、石や水草の陰でなかなか確認しにくいですが、カワニナは夜行性のため、上写真のように夜になると活動が活発になる。

カワニナの餌は、石などについた藻やコケであるが、ホタルの幼虫が上陸する頃には、藻が発生し始める。



上陸を始めるホタルの幼虫 2007.5.11 20:57 (蓮池小学校ビオトープ2号池)

### ホタルの幼虫の上陸

平成19年5月11日(金)(20:57)2号池から上陸を始めようとするホタルの幼虫。動きは非常に遅いが、時々体を青白く光らせながら移動する。発行するのは写真でも少し確認できるが、幼虫の節目ごとにある突起部分が光っている。

## ホタル鑑賞会

平成19年5月18日(金) 21:30に1号池北側で、この年最初のホタルが確認できた。その後は天候にも恵まれず、5月21日(月)以降は羽化が進まなかった。5月30日(水) 20:20に2匹目を確認、21:00には3匹目を確認、ホタルの羽化が進み始めたことを確認し、6月1日(金)より鑑賞会を開始することを決定し、蓮池小学校「灯足るの会」と連携しながら、学校と地域に鑑賞会について案内し、警備等の安全管理をおこなった。

案内リーフレットや会場での呼びかけにもかかわらず、ホタル鑑賞のマナー等が悪かった。

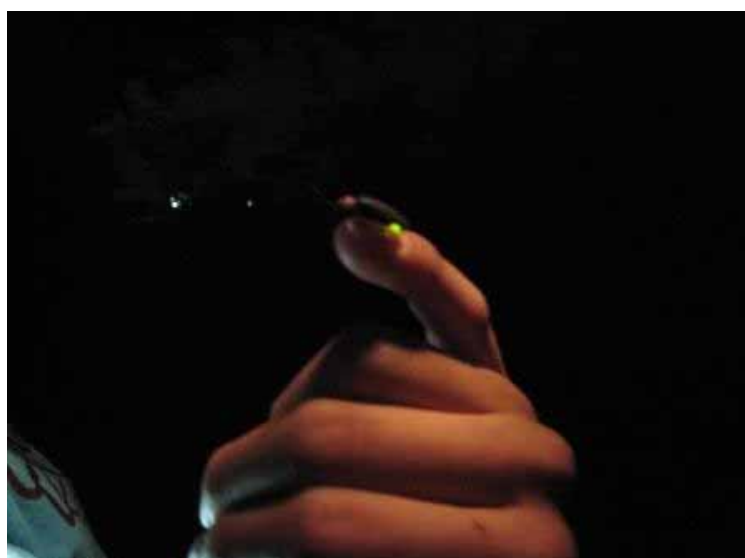
### 路上駐車

大声で騒いだり、走り回る

ホタルを捕まえたり踏みつける

蚊取線香持参で来場

懐中電灯等で照らす 等



この年最初に確認したゲンジボタル  
2007.5.18 21:30 (蓮池小学校ビオトープ1号池北側)

## 野添北公園のホタル

同時期に作成した北公園内にあるビオトープへホタルを確認に行ったが、残念ながら確認できなかった。播磨町の担当部署で確認するとホタルの増殖等にかかる幼虫等の放流や人工孵化等のは中断しているということだった。

現在、管理面でも公園指定管理者の臨海管理センターを通して業者委託しているが、ホタル池としての機能はまったく望めないのが現状であり、残念な限りである。

今後、塾で管理ができないか調査していく必要がある。そこで、ホタル鑑賞を楽しみにしている住民の声にこたえるためにも、本年度、幼虫を放流し調査研究をおこなうこととなった。

本年度は幼虫の放流のみとなったが、蓮池小学校のビオトープと同様に観察を続けることで、町内でのエコアップを進めていかなければならない。また、将来的には、ホタルの里親制度やホタルの人工孵化から養殖をおこない、自給自足でホタルの数を増やすことも計画していく予定である。

## 2 - 2 親子キャンプ体験

### 蓮池小学校でキャンプ

日 程：平成19年7月21日(土)～22日(日)

場 所：蓮池小学校中庭、体育館

参加者：94名(子ども47名、保護者35名、その他スタッフ12名)

### ダンボールオープンで親子料理体験



親子でダンボールオープンの制作



ダンボールオープンに炭を入れる



ダンボールオープンでピザ



各班ごとにさまざまな創作ピザ

### 蓮池小学校でキャンプの成果

- ・地域の中心である学校でキャンプが出来た
- ・ダンボールオープンでの料理体験は親子で想像力や創造力を育むことが出来た
- ・夜のピオトープ観察では、カワニナ・川えびなどの夜行性の生物の活動の様子が見られ、貴重な体験となった

## 竹林の間伐材でそうめん流し

- ・竹林の間伐した青竹を使って2階の渡り廊下からのそうめん流し台を制作
- ・子どもたちは余った竹で器や箸を手作りで製作



小学校の2階渡り廊下から一気に流れてくるそうめん流し、見た目以上の迫力！実際そうめんを流してみると、水しぶきかそうめんなのかわからない程・・・

そうめんが流れるたびに大きな歓声の中庭に響いていました。





親子で野外活動を満喫する「泊1日のキャンプ」がこのほど、播磨町の蓮池小学校であり、児童らが長さ約二十五センチのお手製の竹の台で「流しそうめん」を楽しんだ。

キャンプは、蓮池小のピオトップでホタルを育てている市民グループ「灯足るの会」などが昨年にも続き企画し、今年も八十五人が参加した。

流しそうめんはキャンプ二日目であり、児童らが竹をのこぎりで切ったり、カッターで削ったりしてそうめんを流す台や器、箸などを準備。校舎の二階から中庭に向け、斜めに竹をつないで設けた台に、冷水とともにそうめんが流れると、歓声を上げながら次々と箸に引つけて味わった。

一日目には、厚紙の内側にアルミを張った「段

## 手作り台で流しそうめん

播磨町 児童ら85人、竹で準備



手作りの竹を流れるそうめんを味わう児童ら＝播磨町野添、蓮池小学校

ボール釜」でヒヤ焼きにも挑戦した児童ら。父親と二人で参加した蓮池小四年の平田麻里弥さん(みづ)は「初めての体験ばかりだったけど、夏休みのいい思い出ができた」と顔をほころばせていた。(宮本万里子)

### 参加者感想

- ・ キャンプにエコアップ活動を取り入れることで学校がエコアップスクールの発信基地となりエコアップの意識が向上した
- ・ 蓮池小学校「灯足るの会」と連携することで父親の参加が多くあり、「親父の子育て」について、意見交換する場ももてた
- ・ 準備から後片付けまで自主的に参加者全員で行ない、お互い協力し合うことの大切さを体験出来た

## 2 - 3 ビオトープとため池の水質調査

ホタルのすめるため池って・・・！？

- ・本塾と蓮池小学校「灯足るの会」、「かがやきの北池コミュニティ」などの団体がエコアップについて合同で地域の水辺の調査研究が出来た
- ・8月26日(日)より水質調査の内容にPH、CODも取り入れ蓮池小学校、北池の調査を開始した
- ・親子水質調査隊で継続した調査を行う



本塾・灯足るの会・かがやきの北池コミュニティがそろって打ち合わせ



蓮池小学校のビオトープの水を採取



糸トンボも生息する蓮池小学校ビオトープ



ドブガイの水質浄化実験



蓮池小学校のピオトープの水質調査



パケットによる PH、COD 水質調査

- ・ 東播磨県民局の協力によりパールプロジェクトのぬばたま貝の真珠の生育状況を見るための引き上げ調査に親子で参加し、貴重な体験が出来た。
- ・ 蓮池小学校のピオイオからイオトープに糸トンボなどが生息するようになった。

#### 今後の取り組み

町内のさまざまなため池や河川の水質調査をおこない、そのデータをもとに住民のエコアップ意識を向上させたい。

## 2 - 4 北池魚のつかみどりと清掃

平成19年10月21日(日)

毎年恒例となった北池のクリーンアップと魚のつかみどりに参画と協働した。かいばりのおこなわれるこの時期毎年、地元の皆さんが池の清掃もかねて多くの人たちが集まり魚のつかみどりなどを楽しんだ。



水の抜けた池の中を歩き落ちているゴミを収集した。ゴミの種類を調査したところ、タバコの吸殻や空き缶、弁当の容器、ビニール袋などが多く、中にはタイヤや自転車などの粗大ゴミも投げ入れられていた。



いよいよ魚のつかみどり！抱えきれないほど大きなニゴイもたくさん・・・



捕まえた魚をお互い確認！



大きなニゴイの多さにびっくり！



ため池の水中生物についての説明



8月26日(日)から活動を始めた親子水質調査隊による2ヶ月間の水質調査記録を発表！また、当日も参加した子どもたちで水質調査をおこない、池のゴミ問題とともに、水質のなど水辺の環境問題について学習ができた。

今後、水質が良くなればもっと多くの生物が増えるはず。水質浄化に向けたエコアップ活動の必要性を感じた。

# 北池だより

第7号

発行

2007年11月

かがやきの北池コミュニティ

秋も深まり、朝夕は少し肌寒く感じられる季節となりましたが皆さん、如何お過ごしでしょうか。日頃はコミュニティの活動にご賛同をいただきありがとうございます。

さて、この度“北池だより”第7号をお届け致します。

先日は、天候にも恵まれ、恒例となりました“魚のつかみ取り大会”を盛大に開催することができました。その様子も含めて今年度の活動等をお知らせします。



## ★平成19年度の“かがやきの北池コミュニティ”★

### ★ 研修研究事業

⇒8月26日“環境学習会”を開催。

### ★ ふれあい交流事業

⇒10月21日 第6回“魚のつかみ取り大会”を開催。

⇒2月10日“バードウォッチング”を実施予定。

### ★ 環境整備事業

⇒7月1日“クリーンキャンペーン”

⇒まもなく“秋の花壇づくり”を実施予定。

⇒12月2日“クリーンキャンペーン”を実施予定。

### ～役員・運営委員の皆さん～

(会 員)

西海啓介 (福徳池)

(副 会 員)

澤田秀隆(二子北)、岩田昭一(北池)、西垣幸雄(新野池)

(会 計)

澤田清隆(二子水利組合)

(運営委員)

澤田 猛(二子北)、澤田 実(二子北)、澤田宗保(二子北)、

田中博芳(北池)、入江 修(北池)、高野親友(福徳池)、

松田忠義(福徳池)、葉科文雄(福徳池)、新村泰男(福徳池)、

小西孝治(新野池)、原田榮子(新野池)、廣田義正(新野池)、

北村寿晃(二子水利組合)、田中 正(二子水利組合)



大きいでしょう!?

準備はOK! まだかなあ?



みんなでクリーンキャンペーン



おめでとう!



やったねえっ!



ヌ、ヌ、するう〜



テナガエビ



モクスガニ



ギンブナ



コイ

※写真データは、Wikipedia、福徳池河川協会、琵琶湖博物館のホームページ等より引用しました。

みなさんのご参加を、そして、ご支援とご協力をお願いいたします。

07.10.21(日) 第6回『魚のつかみ取り大会』入賞の皆さん おめでとうございます\(^o^)/

【大人の部】

	お名前	自治会名	数量(匹)	長さ(cm)
入賞	宮折 哲雄 さん	北池	816	55
入賞	藤本 一彦 さん	二子北	471	68
入賞	宮永 直美 さん	蓮池小	270	
入賞	藤原 ユキエ さん	播磨苑	243	
入賞	本多 宏光 さん	蓮池小	210	55
入賞	西馬 浩之 さん	蓮池小	161	
入賞	八田 義明 さん	蓮池小	148	66
入賞	油本 和樹 さん	新野添	123	59
入賞	吉澤 力 さん	蓮池小	120	33
入賞	藤本 廣介 さん	蓮池小	118	58
ハッスル賞	宮折 美恵 さん	北池		66
ドロンコ賞	宮折 哲雄 さん	北池		55
大きいで賞	薬科 文雄 さん	播磨苑		71

【子供の部】

	お名前	自治会名	数量	長さ
入賞	澤田 そうた くん	二子北	458	
入賞	高島 侑央 くん	蓮池小	264	
入賞	竹前 なり ちゃん	二子北	198	
入賞	八田 千穂 ちゃん	蓮池小	168	
入賞	薬科 美佑 ちゃん	播磨苑	165	
入賞	田辺 みやび ちゃん	蓮池小	162	
入賞	浅野 天音 ちゃん	蓮池小	147	
入賞	植森 大成 くん	蓮池小	140	
入賞	龍田 誠 くん	蓮池小	130	
入賞	藤本 すず・もも ちゃん	播磨苑	101	
ハッスル賞	中西 柊太 くん	播磨苑		
ドロンコ賞	田辺 恒輝 くん	蓮池小		
大きいで賞	藤原 ゆうすけ くん	播磨苑		71

【参加者】名簿記載

二子北47名、北池15名、播磨苑18名、新野添17名、他15名、灯足るの会70名、運営委員19名、水利組合の方々、総勢200名を超える参加を頂きました。

【参加者の皆さんの声】

大人の部

- ❖ 親子で参加しました。池の水質や生き物について、知らないことが多くて貴重な体験になりました。
- ❖ 今までにはため池に関心はなかったのですが、初めて魚のつかみ取りに参加して、親子で楽しい体験ができました。
- ❖ クリーンキャンペーンの時、池にたくさんのゴミがあるのに驚きました。普段、水があり、分からなかったのですが、環境を考える上で貴重な体験になりました。
- ❖ 魚のつかみ取り、水質調査、池のお話、池の生き物などすべて体験型のイベントで、分かりやすいお話で、親子でたいへん勉強になりました。



ブラックバス



ミシシッピアカミミガメ

子供の部

- ❖ 去年より小さい魚と大きい魚をつかまえることができました。
- ❖ 水の検査をしました。バックの水の色が見る見る変わってびっくりしました。つかみ取りでは大きな魚をつかまえることができました。また、行きたいです。
- ❖ 魚のつかみ取りの時、ヌルヌルしてなかなかつかまえるにできませんでした。でも、カニやコイがつかめてうれしかったです。
- ❖ pHとCODの検査をしました。CODをはかったとき、水がよごれているんだなと思いました。池の中にゴミがたくさん落ちていていやな気持ちになりました。人がゴミを捨てるから水がよごれると思いました。池にゴミはすてないけど、これからは捨てるようにします。
- ❖ 魚のつかみ取りでコイやギンブナをたくさんつかまえることができうれしかったです。モクズガニが海からくるとブルーギルが増えるとブナたちがいなくなることを教えてもらいました。よそからつれてこないでほしいです。それから水のけんさをしました。水がよごれすぎると魚がすめなくなるって教えてもらいました。
- ❖ 次々と場所をかえてバケツが重くなるまでつかみ取りをしました。本当に楽しかったです。
- ❖ 8月26日から北池の水質調査をお父さんとやっていますが、魚のつかみ取りの日に水が前より少しきれいになっていて良かったです。



ブルーギル

北池のこと、皆さんとともに楽しみながら大切にしていきたいと思います(\*^\_^\*)

発行責任// かがやきの北池コミュニティ 会長 西海 啓介

# 今年の夏、豊岡の自然へ 巣立ったコウノトリは今!

主催 ゆめづくり塾 (エコアップ塾)・灯足るの会



一度、壊された自然をすべて昔の状態に戻すことは不可能です!

しかし、一定規模のビオトープ (生き物が生息できる場所) をできるだけ多くつくり、ひとつひとつを生態系として繋げていく自然修復活動は可能です。

そこで、コウノトリをはじめとした多くの生きものの命を育んできた豊岡盆地をひとつの地域文化圏ととらえ、豊かで特徴ある自然・文化・産業をエコミュージアム (地域まるごと博物館) として位置づけている豊岡へ行って親子で調査研究してみませんか!

- 平成19年11月11日(日)
- 午前8:00 野添コミセン集合・出発
- 1,000円/人の参加費(昼食代含)を徴収します

※参加資格は「灯足るの会」の家族およびその関係者 (友達を含む) とします。

## [ 日 程 ]

野添コミセン集合出発====豊岡市立コウノトリ文化館====昼食 (豊岡市民会館)  
 (8:00) (10:30~11:40) (12:00~12:45)  
 ====玄武洞・玄武洞ミュージアム====野添コミセン解散  
 (13:15~14:30) (17:00)

きりとり

## 参加申込書

※10月31日 (水) までに封筒に入れて返信してください!

参加者名前	種別	生年月日(障害者枠に必要)	住所
①	保護者・( )年	昭・平 年 月 日	
②	保護者・( )年	昭・平 年 月 日	
③	保護者・( )年	昭・平 年 月 日	電話
④	保護者・( )年	昭・平 年 月 日	備考
⑤	保護者・( )年	昭・平 年 月 日	

コウノトリの日本最後の生息地となった豊岡では、絶滅の危機に瀕したコウノトリを人工飼育をとおして、地域一体となり長年にわたりコウノトリの保護・増殖に努めている。さらに、将来、コウノトリを大空に蘇らせるために地域全体の環境づくりを推進している。地球規模の環境問題に関心が高まる今日、一度壊した自然は以前のように完全にもとに戻せるものではありませんが、地道なエコアップ活動が地域に広がることで、以前のように自然と私たち人間が共生できると思います。この視察研修をとおして親子でエコアップについて考え、播磨町での活動に活かして欲しい。



昭和40年から、コウノトリの保護・増殖にかかわってこられた、コウノトリ文化センター松島館長にコウノトリをとおした豊岡のエコアップ活動について話を聞きました。子どもたちにもわかるように丁寧に、取り組みについて話していただきました。



コウノトリが絶滅の危機に瀕し、繁殖できなくなった理由は・・・体内に蓄積された水銀や環境ホルモンの影響で卵が孵らないことが最大の原因だった。私たち人間もコウノトリが住めないこのような環境で生活することが出来るのか・・・！？

現在、兵庫県や豊岡市を中心として、さまざまなエコアップ活動が盛んになってきている。無農薬による農業の推進と環境改善に向けての地道な市民活動で大きな一歩を踏み出したようだ。そして、その成果が平成19年の夏に豊岡市でコウノトリが巣立った。今年も多くの巣が作られ、繁殖の兆しがあるので平成20年度は1羽でも多くの巣立ちに期待したい。



豊岡市コウノトリ文化館には思ったよりたくさんのコウノトリの姿があり、コウノトリの大きさにもびっくりした。豊岡市でのエコアップ活動が順調であることを再認識させられた。



#### 参加者の感想から抜粋

- ・豊岡市民と行政が一体となりコウノトリの野生復帰という1つの目標を持ち、取り組んでいる姿が実感できた
- ・自然環境を破壊するのは簡単でも元に戻すにはそれ以上に長い年月がかかることを改めて実感させられた
- ・バスの中でのエコクイズなど楽しみながらエコ学習できた
- ・生き物たちにとって住みよい環境が人にとっても住みよい環境であることを実感した
- ・播磨町でもエコアップ活動のネットワークの輪を広げて生き物と人の住みやすい環境づくりの推進を願う
- ・親子参加で次世代を担う子どもたちと先進地の調査研究が出来たことが良かった

#### 今後の取り組み

エコアップを進める上でキーワードとなるのが食の安全や食育である。地産地消の取り組みについても調査研究し町内でも啓発したい

## 2 - 6 北池バードウォッチング

平成20年2月10日(日)北池～野々池

- ・コウノトリ視察研修を活かして播磨町周辺の野鳥について調査研究することにした
- ・冬のため池について親子で観察を行った
- ・クリーンキャンペーンを行った時、ため池に落ちているゴミの調査を行い、エコアップ活動の重要性を啓発した
- ・播磨町に隣接する明石市の野々池での野鳥観察も行った



北池の野鳥(マガモ)



野々池の野鳥(マガモ)



北池



野々池

### 当日観察できた野鳥

カワウ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ マガモ ハシビロガモ トビ オオタカ ケリ  
ユリカモメ セグロカモメ ハクセキレイ モズ ツグミ カワラヒワ スズメ ムクドリ シボソ  
カラス ドバト アヒル

### 今後の取り組み

水質調査と水中生物を調査研究しながら、ため池周辺の生態系について考えてみたい。そして、播磨町が生き物たちや人に住みやすい環境であるかどうか調査研究を進めていきたい。

## 2 - 7 喜瀬川エコアップ作戦とカワニナ放流

主 催：ふれあいエコアップ塾 蓮池小学校「灯足るの会」 喜瀬川クリーン隊

# 喜瀬川エコアップ作戦！

喜瀬川クリーン隊と共同で喜瀬川クリーンキャンペーンを実施します！そして、この喜瀬川に蓮池小学校のビオトープで繁殖したカワニナを放流します！親子で、身近な喜瀬川のエコアップについて考えてみませんか！

◆エコ・アップとは・・・都市化され、自然環境が失われた地域の生物的環境を改善していこうというものです。単に、木を植え緑をふやすといった活動だけでなく、より多くの生き物がそこに暮らすための環境を整えていく活動です。



- 日 時■ 平成20年3月8日（土）9：00～11：00
- 場 所■ 喜瀬川「野添であい公園」集合解散（少雨決行）
- 持ち物■ 軍手、タオル、汚れてもよい服装
- 9：00～ 喜瀬川クリーン隊とクリーンキャンペーン
- 10：30～ 蓮池小学校で繁殖したカワニナの放流と水質調査  
（カワニナ：ホタルの幼虫の主食となる巻貝）

理科自由研究の動機付けやヒントになるかも！



- 「ふれあいエコアップ塾」 [ホーム] [http://park.geocities.jp/harima\\_eco/](http://park.geocities.jp/harima_eco/)  
[メール] [harima\\_eco@yahoo.co.jp](mailto:harima_eco@yahoo.co.jp)
- 「蓮池小学校灯足るの会」 [ホーム] [http://www.geocities.jp/hasuike\\_oyaji/](http://www.geocities.jp/hasuike_oyaji/)  
[メール] [hasuike\\_oyaji@yahoo.co.jp](mailto:hasuike_oyaji@yahoo.co.jp)

きりとり

参加申込書 3月6日（木）までに担任の先生へ提出してください！

参加者（児童・保護者・その他）なまえ	学年・組及び種別
	年 組 保護者
	年 組 保護者
	年 組 保護者
	年 組 保護者

平成20年3月8日(土) 9:00~11:00 (野添であい公園、喜瀬川)

「喜瀬川クリーン隊」が毎月第1土曜日に行っている喜瀬川クリーンアップ活動に蓮池小学校「灯足の会」と参加し、清掃活動とともに喜瀬川の水質調査を行いました。



それぞれの会の代表が挨拶



団体は違っても意識は同じ・・・！



野添であい公園から清掃開始



新しく整備された喜瀬川で清掃



BAN BAN-TVの取材も・・・



川の中にもいろいろなものが落ちている！



野添であい公園から大中橋までの往復の清掃・・・もうすぐゴール！



集められたゴミの多さに驚かされるばかりだ！タイヤなども捨てられている・・・  
ため池と同じ状況に驚きを隠せないが、何とかしなければならぬ！マナーの悪さに怒りさえ・・・



参加者で喜瀬川の水質調査。PH や COD などをおなじみのバックテストで調査！水質はまだまだ・・・



蓮池小学校で繁殖しているカワニナを喜瀬川に放流

- ・ふれあいエコアップ塾と蓮池小学校「灯足るの会」や「喜瀬川クリーン隊」が協力し、喜瀬川のクリーンキャンペーンを行いエコアップの輪が広がった
- ・喜瀬川で拾ったゴミについて親子で調査出来た
- ・蓮池小学校で繁殖させたカワニナを喜瀬川を清掃している団体と共に放流し、喜瀬川の水質浄化やエコアップの一步を踏み出せた
- ・参加者で水質調査を行ない、住民主体で喜瀬川を美しくする意識が向上した

#### 今後の取り組み

今後、「喜瀬川クリーン隊」、蓮池小学校「灯足るの会」と継続して喜瀬川のエコアップについて連携し、隣接する野添北公園のビオトープでのホタルの養殖等の共同事業も進めていきたい。

## 2 - 8 ホタルの幼虫の放流



自然界ではほとんど目にする事のないホタルの幼虫



蓮池小学校のビオトープに放流



石の影に隠れる幼虫。幼虫も夜行性



野添北公園にホタルの幼虫を放流

蓮池小学校と野添北公園のビオトープにホタルの幼虫を放流しました！蓮池小学校のビオトープは昨年このビオトープで飛んだホタルの卵から孵化した幼虫を昨年放流していますが、自然界ではなかなか繁殖できず、まだまだ人の手を借りなくてはなりません。

## 3 来期に向けて

- 水辺の上流地域との協力及び水質調査のモニタリングの継続
- 喜瀬川の源流を探るエコツアーリズム
- 播磨町内の水辺を中心としたエコアップのネットワーク化
- 環境問題を焦点に父親の子育て参加の促進と学社融合
- エコアップから魅力あるまちづくり
- 親子で地産地消の調査研究と食育